

(取り付ける前に必ずお読み下さい)

《仕様》

- ・ポジションプレート、ブレーキカム、etc アルミ (A2017) ピレット削り出し
- ・ペダル、ステップパーペダルピン、etc アルミ (7075) 鍛造
- ・ペダル先端可倒システム採用
- ・厳選されたポジション設定 (BEET X-Formura参戦の9Rと同ポジション)
- ・MFJレースレギュレーション対応ステップパー
- ・逆チェンジに変更可能 (6Rはレース使用時のみ可能)

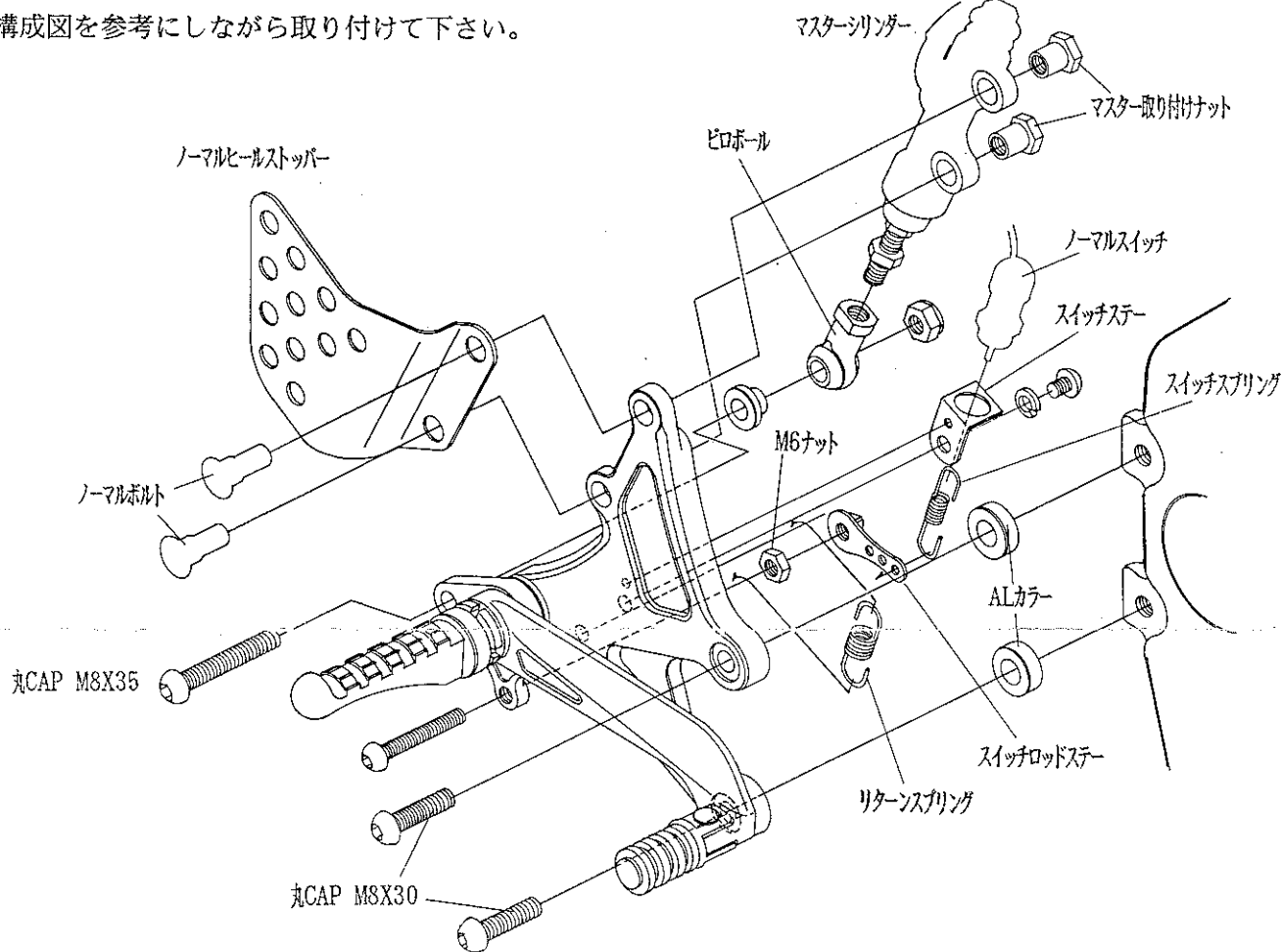
	9 R	6 R
逆チェンジ	可	可 (レース使用時のみ)
UP	30 mm	30 mm
BACK	24 mm	24 mm

!!ATTENTION!!

- ▽ 取り付けは、メーカー発行のサービスマニュアルによる確かな知識・技術を持ったバイクショップ又は、販売店に依頼することをお勧めします。
- ▽ 取り付け時は、エンジンが冷えている時に行ってください。怪我の原因になります。
- ▽ 取り付け後初期は、ボルト・ナットが緩み易いので、2~3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ▽ 製品に加工等を施さないで下さい。事故の原因になります。
- ▽ 走行前に必ず各部品の機能チェック・干渉チェックを行ってください。

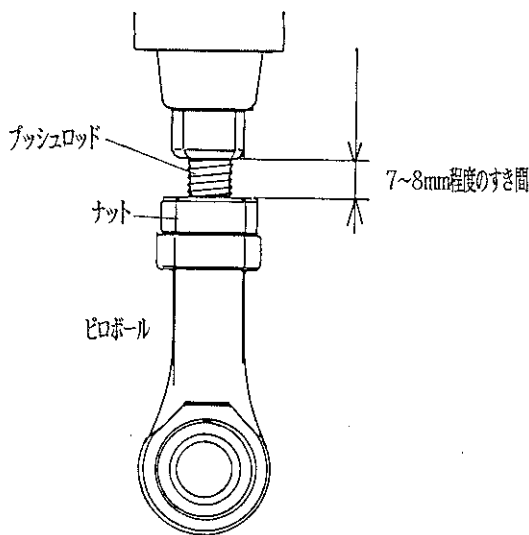
(ブレーキ側の取り付け)

・下の部品構成図を参考にしながら取り付けて下さい。

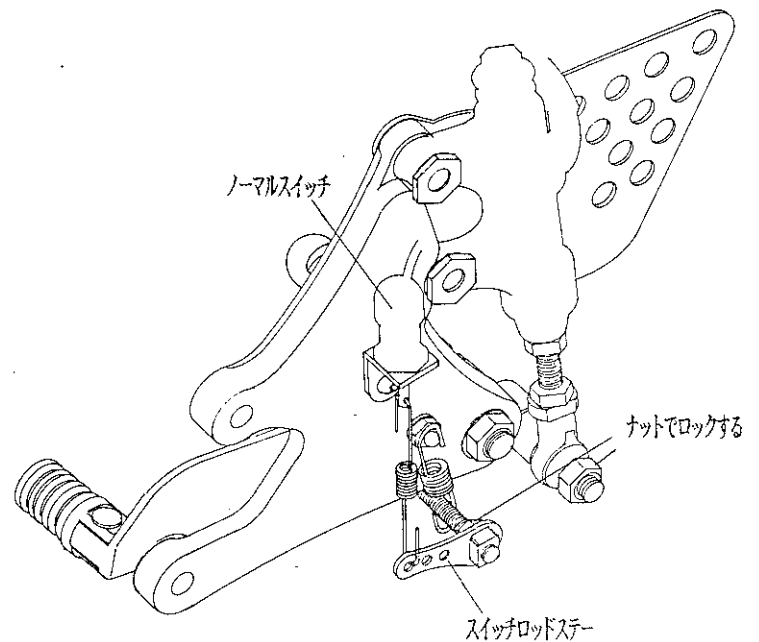


1) ノーマルステップを取り外し、スイッチの配線とシートレールをつないでいるタイラップを切り離します。(6Rは、スイッチの配線をHYPER BANKに取り付けられる所まで引き出します。)

2) 図の様に、プッシュロッドにピロボールを差し込み、7~8mm程度のすき間をあけてノーマルナットで仮締めします。(すき間の数値は、あくまで参考です。必ず自分に合った高さ調整を行ってください。)



3) スイッチステーを取り付けて、スイッチを差し込みます。各スプリング等を図の様に組み上げます。



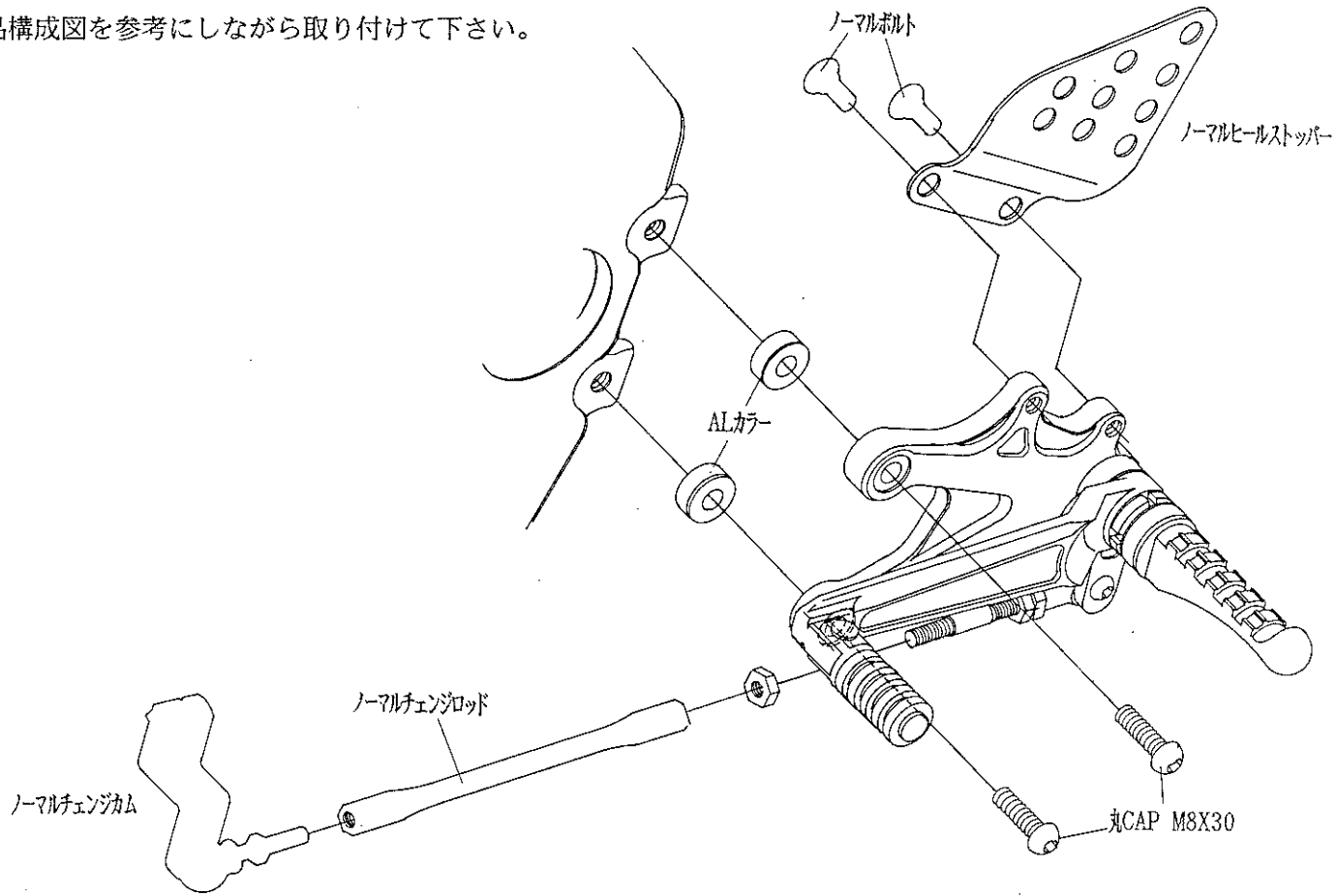
4) 組み上げたステップホルダーを車体に取り付けて、ペダルの高さ調整を行います。位置が決まったらピロボールをナットでロックします。9Rは、スイッチの配線をつなぎます。

5) ペダルを踏み込んだ時に、ストップランプが点燈する様に、3)の図のスイッチロッドステー又は、スイッチで調整します。位置が決まればスイッチロッドステーをナットでロックします。

6) 締め忘れが無いを確認し、必ず増し締めを行ってください。

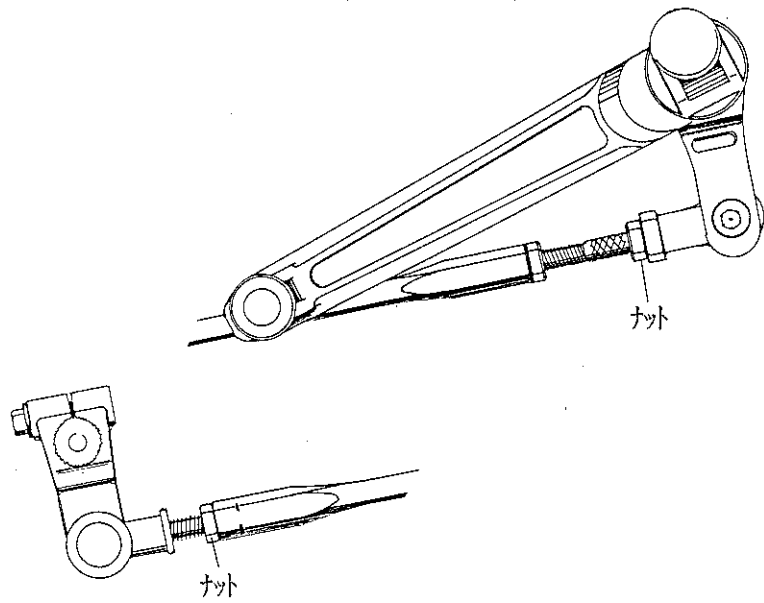
(チェンジ側の取り付け)

・下の部品構成図を参考にしながら取り付けて下さい。



1) ノーマルステップを取り外します。チェンジカム・チェンジロッドは、ノーマルを使用します。

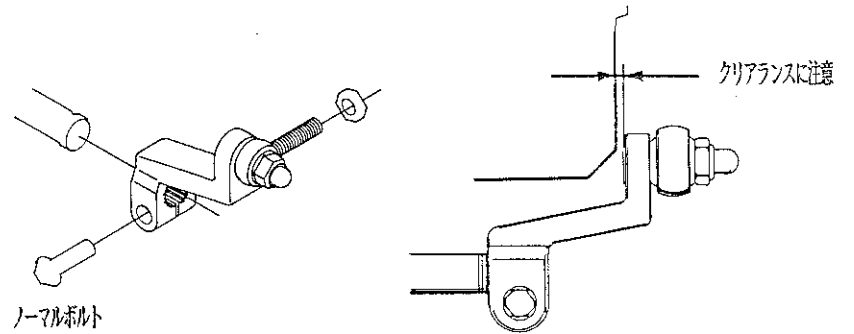
2) ステップホルダーを単体に取り付けます。図の様に、ノーマルチェンジロッドを差し込みベダルの高さ調整をして、位置が決まれば、ナットでロックします。(カムとロッドの角度は、個人差により多少変わります。)



3) 締め忘れが無いが確認して、必ず増し締めを行って下さい。ギアが入るか確認して下さい。

ZX-9Rの逆チェンジへ変更

(ストリート) ストリートでの逆チェンジへの変更は、図の様にノーマルのチェンジカムを付属のチェンジカムと付け替えます。チェンジカムを締め付ける時に、ボルトを差した状態で手前に引いた位置で締め付けて下さい。クリアランスが余りないので取り付け時は、注意して下さい。(チェンジシャフトにガタツキがあり、遊びが多い車両は、ストリートでの逆チェンジへの変更はしないで下さい)



(レース) 取り付け方は、ストリートと同様です。スプロケットカバーを取り外されている場合は、カムが出来るだけエンジン側へ近付く様に取り付けして下さい。

ZX-6Rの逆チェンジへの変更

(ストリート) ストリートでの逆チェンジへの変更は出来ません。

(レース) レース時にスプロケットカバーを取り外した場合は、ノーマルのチェンジカムを使用して逆チェンジに変更出来ます。取り付けは、下の図の様に取り付けます。

